さざなみ

第123号

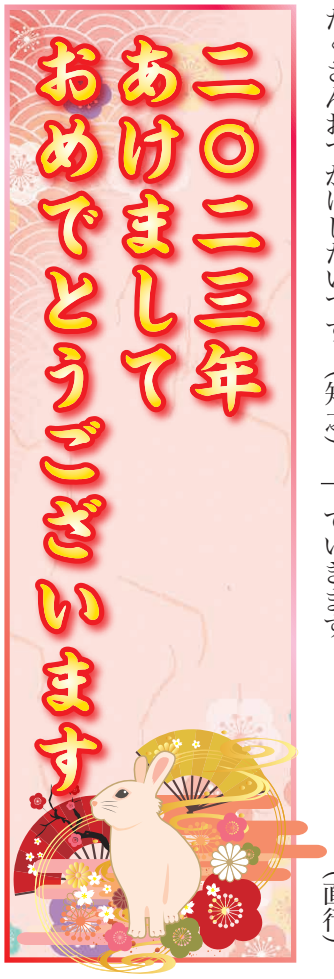
〈ミッション〉
私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

〈ビジョン〉
豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人 槇の里
いすみ学園

利用者の抱負

毎日楽しく、美味しく、元気に過ごす。（崇嘉）
グループ実習休まないで頑張ります。休んで外作業に行かないようにします。（正巳）
お仕事を今年も一年がんばります！（俊哉）
家でゆっくり過ごせますように。（隆明）
体調を崩さず健康に過ごします。（陽一郎）
大好きなコーヒーを楽しみに日々を楽しく過ごします。（清）
毎日楽しみます。（賢治）
オシャレでシブイ、いすみのタクヤ!!（拓也）
笑顔の多い一年にします。（功博）
家族と過ごせる時間が増えますように。（直人）
家族皆と楽しく過ごしたいです。（勇）
健康第一。（洋）
家族と美味しい物を食べて、ゆっくりと過ごしたいです。（勝己）
家族で楽しく食事が出来ます様に。（伸泰）
マザー牧場に行きたいです。（哲）
来年の三月で卒業（自立）区役所目標に就職。支援に負けない。（順二）
何時も通り帰宅ができるようになり、家族と過ごす時間が増えますように。（諒）
毎日の運動を頑張って、健康に過ごしていきます。（直行）
健康第一。親孝行するぞ!!（伸和）
たくさんおでかけしたいです。（知之）



毎日、楽しく過ごします。（肇）
美味しい物を沢山食べたいです。（龍司）
毎日楽しく、美味しく、元気に過ごす。（大作）
いつもの日常が戻ってきますように。（隆行）
家族と楽しく、笑顔で過ごしたいです。（次郎）
現状打破（直樹）
健康一番！家族と楽しい食事ができますように。（和彦）
日々楽しく過ごしたい。（忠弘）
毎日楽しく過ごしたいです。（裕輔）
「若い者には負けないよ」最年長でも元気いっぱい!!（近司）
本領発揮（功）
身体健全（陽）
新しいゲームが欲しいです。（陽介）
健康第一。美味しい物を食べたいです。（譲二）
痩せて、美味しい物を沢山食べたいです。（健夫）
箱根湯本に三泊泊まります。（美由紀）
今年も無理なく過ごしたいです。（麗子）
おしごとがんばります。（康恵）
加工棟のお仕事を無理なく頑張ります。（美千代）
エンジンぶるぶる絶好調！（潤子）
おいしい物を食べたいです。（香織）
元気に過ごしパフェが食べたい。（祐子）
おいしいものを食べに行きたいです。（理恵）
ケーキクッキーの工場に行けるようにがんばります。（泉）
ディズニーの本を見て行けるようになりたい。（順子）
いっぱいドライブに行けますように。（純子）
今年も石鹸班のお仕事がんばるぞ！
エイ・エイ・オー!!（雅子）
ことしはおんせんにいけますように。（真砂子）
家族皆で過ごせる日がたくさんありますように。（明子）
皆さんと一緒に心地よい時間を過ごし、お話もしたいです。（文子）
マイサポートに行き美味しい物を沢山食べたいです。（あけみ）
いっぱい美味しいものが食べられますように。（昌子）
一生懸命何があっても諦めない心、やる気の心をモットーに頑張る。（由紀）
元気いっぱい・笑顔いっぱいで過ごします☻（侑子）
健康で、皆と仲良く、今まで出来なかったことに挑戦し続ける年にする。（清伸）

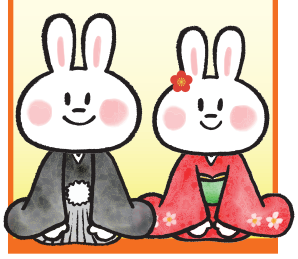
身体を動かして、体重を増やさないようにしたいです。（文宏）
りっぱなおねえさんになりたい。（理絵）
仕事も頑張り、楽しい一年になります様に。（透）
たくさんお出かけできますように。（一夫）
毎日、穏やかに過ごす。（智司）
本屋にいきたい。マックにいきたい。テレビに出てみたい。安倍さん大好き。（間子）
運動を頑張りたいです。（恵里子）
健康に気を付けて丈夫な体で働けますように！（岩雄）
年齢に負けず、今年も仕事がんばります！（和好）
お仕事を頑張りたいです。（富美）
ごはんの計量とほぐすのをがんばりたいです。（恵里）
けがをしないでお仕事をがんばります！（江美）

職員の抱負

元気にスクラム組んで頑張りましょう。（堂下　勉）
全てを敬い感謝を。（長沼　毅）
皆さんと日々を大切に過ごします（土屋　早苗）
健康第一（鶴岡　田鶴子）
万里一空（大屋　真理子）
利用者とともに、一日一日を大切に過ごす（井上　秀一）

感謝と進取の気持ちを大切に。（軽込　進一）
今年のお酒はビールのトマトジュース割。「うさぎ」だけにレッドアイ!!（加茂　正和）
利用者様、そしてご家族様が安心して日々を過ごせる様に、日々尽力する。（片岡　彰則）
無理をしない（三上　慎一郎）
当たり前を当たり前と思わず、日々の感謝を忘れない。（田辺　清万）
無駄な時間を減らす。（屋代　精一）
報恩謝徳（篠崎　俊克）

本年もよろしくお願いいたします



健康第一、楽しく過ごす。（金城　正直）
健康第一。（佐久間　雅也）
運動と子育て頑張ります。（高地　優輔）
怪我無く事故無く健康で、一日一日を楽しく過ごす。（泰居　容一）
健康的に生きる。（三神　颯人）
病気怪我無く過ごす（長田　圭司）
健康第一（末吉　武司）
運動をして、動ける身体をつくる。（大木　崇司）
日々、相手に学ぶ気持ちを忘れずに、向き合っていきます。（鈴木　典子）

感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に過ごします。（岩瀬　祐三子）
健康第一。日々の人生を楽しみたい。（岩瀬　佳代子）
どんな時でもポジティブに♪（吉田　友希）
利他愛で日々過ごせるように精進♡（會津　みどり）
「寄り添うこと」を追求する。（是枝　志津子）
健康的な生活を送ります。（小高　由希子）
笑顔があふれる一年に。（岩瀬　紗良）

いつでもいい波に乗れますように。（祖一　陽子）
元気で一年が無事に過ごせますように。（市東　やす子）
私も利用者も健康に過ごし、頑張って歩けますように。（川名　純子）
自分らしく前進できる一年を。（鈴木ゆかり）
健康第一。（鈴木　恵美）
健康で楽しく過ごせますように。（池田　恵里子）
健康第一で一年が過ごせますように。（藤平　浩美）

健康第一、ゲンキ・元気に笑顔を絶やさずがんばります！（甲木　秀文）
今年もよろしくお願いします。健康で明るい一年を過ごしましょう。（菅根　早苗）
頑張り過ぎず、健康に心穏やかに過ごせますように。（吉野　由起子）
健康第一（鈴木　晃）
早く仕事を覚えたいです。（平山　紀夫）
健康第一、穏やかな毎日を過ごせますように。（八木　三枝）
みんなが健康でいられますように。（手塚　伸子）
一日一日を大切な一年に。（佐藤　幸子）
ＧＩＶＥＲであり続ける。利他の心を忘れずにまた一歩前へ。（小島　七生）
健康で働く為に、貯筋をつくる努力をします。（高師　啓子）
健康に気を付けてガンバリます。（宮澤　三枝子）
一日一日を利用者と共に穏やかに笑って過ごせますように。（小柴　さい子）
たんぽぽの皆が元気に楽しく過ごせるお手伝い、頑張ります。（高木　はるみ）
一年間皆さんと仲良くできるように頑張ります。（浅野　トシ子）
皆さんと共に毎日を健康で平穏に過ごせるように努めます。（下山田　礼子）

年頭のご挨拶

社会福祉法人 槇の里 理事長 岡部一邦

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

既に歴史の一齣となった二〇二二年ですが、昨年二月、ロシアは理不尽にもウクライナ侵攻を開始しましたが、展望のない戦闘の中で多くの市民や兵士の尊い命が奪われ、年を明けた現在も泥沼の戦いが続けられております。

また国内では、先の参議院選挙で応援遊説中の安倍元総理が凶弾に斃れるという驚天動地の事態が発生いたしました。

その後政局は迷走を続け、世界的な物流障害や円安・ドル高による物価高騰の波が私達の日々の生活を圧迫しております。

新型コロナウイルスの発生から三年が経過しましたが、第八波に及ぶ変異株の襲来に見舞われ、マスクと手洗いと身を屈めての自粛生活が続いております。

まさに、内憂外患の中で迎えた二〇二三年でありますので、コロナの収束と世界の平和、そして平穏な日常の再来を祈る心、切なるものがございます。

この激動の一年、学園では二度にわたりクラスター発生という厳しい体験をしましたが、施設長の的確な指揮の下、職員の献身的な看護と感染防止対応によって、一人の重症者も出すことなく全員が日常生活に復することができまして、心から安堵しております。

長引くコロナ禍のなか、保護者の皆さんには面会自粛をお願いしてきましたが、作業班毎の「家族面会日」を開催し、久しぶりの交歓の時間を過ごしていただきました。

何とか以前の学園生活を取り戻したいとの思いを一つにして、日々の日中活動をはじめ、「夏祭り」や「槇の里祭」に代わる「文化祭」を開催しました。

昨年十一月には、二泊三日の一時帰宅を実施し、二十四名の皆さんが久しぶりに我が家に帰って、ご両親と楽しい時間を過ごして無事帰園しました。

しかし、師走に入って、第八波の襲来を受け、三度目のクラスター発生となってしまい、三年振りの開催を予定していた鴨川グランドホテルでの「クリスマス・忘年会」は直前で中止となってしまいました。

また、暮れに予定していた保護者会と、お正月の一時帰宅も残念ながら中止とさせていただきました。

感染した皆さんは、職員の懸命な看護により、全員元気に新年を迎えることができましたが、これからも更に感染予防に努め、コロナ収束の時を待ちたいと思っております。

利用者の皆さんが、閉塞感を感じることなく、大切な日々の生活を心安らかに送ることが出来るよう、職員一丸となって支援に努めて参りますので、本年も引き続き、皆様のご指導ご支援をお願いいたします。

皆様にとりまして、新年が穏やかで幸多き年となりますよう祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶

社会福祉法人 槇の里 いすみ学園 施設長 堂下勉

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

年初に際して、まず日頃より多くのご支援をいただいている皆様方に厚く御礼申し上げます。

未だにコロナ関連に纏わる事案は多岐にわたりますが、元気に乗り越えています。今号では昨年のトピックスを幾つか紹介してみます。

〔夢がかなった一時帰宅と親子面会〕

昨年十一月に、三年越しに二泊三日の「一時帰省」を二十四名の利用者が実現できました。都庁の大駐車場での親子再会には保護者の皆様も感激されたことと察します。施設長としてこの三年に及ぶコロナ対策の中で最大級のイベントを実現した思いです。また、この期間に帰宅はできない代わりに面会に来ていただけたご家族様も喜ばれました。何より幸せなひと時でした。

〔母を偲ぶMさん〕

コロナ禍中、親を失った利用者は多数おられます。Mさんもその一人で、あすなろ学園、こころみ学園を経験して満を期していすみ学園開設当初からの重鎮です。現在まだまだ若い六十九歳となりました。令和二年六月に母親を亡くし、葬儀関連一部始終を経験させました。Mさんの悩みは次の通りです。「天国はどこにありますか」、「天国でお母さんと話をしてまた戻ってきましょうねと伝えたいこと」、「お墓の中にお母さんがいるから出してください」等、リアルな質問も含めて日々奮闘しながら応えています。お母さんに対する熱い想い、会いたい気持ちを毎日必死に訴えに来る姿には天国のお母さまにも伝わっていることと思います。

〔ボーナス外出、いいね！〕

余暇支援では毎年恒例の一泊二日の作業班旅行が中止となっていますが、各種行事の代替えや、お楽しみ会を開催してきました。中でも夏と冬のボーナス外出は人気度No.1で、作業班単位で楽しみます。一例を紹介すると南房総市にあるとんかつ屋さんでは、人気店にもかかわらず、店主さんのご理解より貸し切りで満喫させていただいたグループや、バーベキューでは、食材の買い出しから調理まで皆で奮闘して厚切り和牛のステーキや諸々いただき、締めは焼きそばとカレーです。その他にもテイクアウトを駆使したバイキング等、職員の思い入れが伝わりました。

昨年グループホームさくらの家三十周年記念式典を、お世話になっている地元の方をお招きして祝うことができました。改めて地域社会との連携を大切にしていきます。

新年に寄せて～更なる充実を目指して～

保護者会長　谷島　慶彦

明けましておめでとうございます。

皆様のご支援を頂き、いすみ学園利用者は多少コロナ禍の影響が有りましたが、学園のご努力により、明るく安定した生活を送っており心より感謝申し上げます。

コロナ禍が丸三年続いていますが、ワクチン接種と一時の感染下火も有り又、旅行や各イベントの復活も有り、感染に対する警戒感が多少慣れつつある様に思われますが、感染の第八波に向かっているとも言われており、暫く警戒感を怠ってはならない様です。

昨年いすみ学園では、コロナ感染クラスターが発生し、感染利用者の体育館での隔離療養が行われ、付添いの支援職員がご家庭を離れて職員宿舎に泊まり込んで献身的支援を頂き、それ以上の広がりが無く収束が出来た事に感謝しています。いすみ学園は、この様な経験もあり、コロナ感染防除やその支援体制が、更に充実して来ている様で、保護者には大きな安心感となっています。

そして、保護者会では、職員の隔離療養支援の大変なご努力に少しでも報いる事が出来ればと、付添い支援職員に対し「コロナ隔離支援給付金制度」を設け、ささやかですが応援の気持ちを表す事としています。

又、コロナ禍により利用者の外出や面会が制限される中、昨年は保護者面会や一時帰宅の機会を設けて頂き、短い時間ですが、親子兄弟で心温まる時を過す事が出来ました。

今年は、いすみ学園開設三十九年目となり、利用者の高齢化に直面しており、年々体力の低下に伴い、病気の発症や機能低下により、医療や介護面の支援の比重が増しつつ有り、学園にその対応にご努力頂いております。又従来の作業中心から、日々楽しく充実して過す事が出来る様な生活の変化にも取り組んで頂いています。

そして、コロナ禍により利用者の制約が続くなか、不満や情緒の安定を欠く事の無い様配慮がなされ、学園内行事やお楽しみ会等、職員の企画で毎月の様に利用者と共に楽しむ、余暇活動が定着し、保護者会でも飲食物の提供の応援に努めています。

いすみ学園は、利用者と親の高齢化及び高齢期の環境整備等の課題が有りますが、利用者が現在の仲間と職員と住み慣れた場所で生活が送れる様、保護者会は本年も学園に協力して、精一杯努力して行く所存です。

第三者評価利用者調査

いすみ学園では「東京都福祉サービス第三者評価」を毎年受審しています。これは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促す事で、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

今年度は「ＮＰＯ法人メイアイヘルプユー」に依頼し九月十二日に利用者調査が実施されました。十月五日、七日には経営層・管理職への聞き取り調査も行われ、これらの調査結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」にて後日公表されます。福祉サービスの質の向上、利用者主体の支援のために今後も毎年実施していきます。

（支援主任　岩瀬　祐三子）

清水基金助成　新館エレベーター改修工事完工

平成十年の定員増と共に増築・設置された新館のエレベーターは、平均的な耐用年数が二十年余りの中、今年で二十四年経過しました。延命に必要な部品である油圧ジャッキは二〇二〇年で生産終了し、現時点でジャッキが交換できても、今後不具合が生じた際に対応が困難な可能性があります。利用者の高齢・虚弱化はこれから益々進み、エレベーターの重要性が高まる中、長期間使用できない状況は大きなリスクとなります。一刻も早い改修が不可欠と判断して、今年の九月、改修工事に着手しました。

工事実施にあたっては、いすみ学園に常日頃からご協力頂いております、「社会福祉法人清水基金」様の助成金を活用させて頂きました。工事は順調に進行し十月末に完工となりました。現在利用者の皆さん、以前にも増して快適に利用しております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。これから何十年と大切に利用していきたいと思います。（事務長　長沼　毅）

グループホームさくらの家が開設30周年を迎えました

GHサービス管理責任者　加　茂　正　和

ご支援頂いた皆様に感謝します

「グループホームさくらの家」は、開所30周年を迎えました。これまで入居された利用者は、現在入居中の5名の外に3名。うち30年通しての利用者がお二人おります。また、現在の寮長は6代目で、その他複数の関係職員や外部事業所のヘルパーさんとの出会いと別れがありました。個性豊かな利用者さんを中心に、すべてこの「さくらの家」を通した縁あってのお付き合いの歴史と言えます。

そんな関係者の皆さん、そして地元刈谷地区のご近所の方々、更には近隣商店や理容店、利用者の勤務先の皆々様によるこれまでのご理解とご支援に対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。そして、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

30周年を祝う会

去る11月7日、いすみ学園の風川美術館にて「GHさくらの家　30周年を祝う会」を開催しました。当日はGHの近隣の6名の住民の方々を招待し、利用者5名、保護者3名、学園からは岡部理事長他6名の職員が参加しました。この会の目的の主旨は、「日頃からお世話になっている地域の方々への感謝」です。

始めに、会に華を添えるべくいすみ学園の茶道クラブによる野点（美術館脇のバルコニー）のおもてなしからスタート。日頃の活動の成果を招待者一人ひとりに披露しました。後に参加者の紹介と挨拶。利用者のそれぞれによる自己紹介もあり、笑いも交えた和やかな時間となりました。昼食を食べながら、さくらの家の30年の歴史や利用者や職員とのお付き合いのエピソードなど、招待者から懐かしいお話を聞くことができました。

終わりに、小島寮長と利用者から皆さんへの記念品の贈呈を行い。参加者全員での記念撮影。短い時間でしたが、大変和やかな祝う会となりました。皆さん、お疲れ様でした。

【　透　さんへ】30年間ずっとさくらの家で暮らしてきた、まさに生き字引。透さんの膨大な記憶は、折に触れて皆の支えとなり誇りでもあります。

【一 夫 さんへ】父に手を引かれやって来たその日から、毎日を丁寧に生きてきましたね。ここは一夫さんの家です。だからきっと大丈夫。

【智 司 さんへ】一番後から入居したことで皆に遠慮しがちだった智司さんも、今では肩を並べる存在です。いつもお掃除ありがとう。

【間 子 さんへ】道を歩けば「源氏のアイちゃん」と、地域の皆様に愛される人気者。これからも太陽のようにこの町を照らしてね。

【恵里子さんへ】三姉妹の長女である恵里子さんは、しっかり者で心優しいお姉さん。年下の寮長をいつも助けてくれてありがとう。

ありふれた毎日を、これからも
沢山重ね続けましょうね。寮長　小島 七生

いすみ文化祭を終えて

十月十三日、天候には恵まれませんでしたが第三回いすみ文化祭を開催しました。感染症の影響もあり、今年も園内のみでの催しとなりました。

いすみ学園の食を担うレオックの協力で、お祭りメニューの屋台を出して貰い、祭りの楽しさを味覚や雰囲気で味わうことができ、皆さん喜んでいました。

出し物については今回、利用者の方々が主役になれることをしたいと考え、各作業班から代表者を二組選出してもらい、いすみ学園のど自慢大会を行いました。審査員も用意し、各々渾身の歌唱をソロ、デュエット、グループで披露。司会の手腕もあり会場は大いに盛り上がりました。

その他、学園行事恒例になりつつある、ダンスを今回はディズニーの曲「ジャンボリダンス」を職員有志が披露。利用者の方々も巻き込み踊り、会場を興奮で包んでくれました。

本来は保護者の方々も交えて行っていた槇の里祭の代替行事。少し寂しさもありながら皆さんも楽しめる行事を提供できたと思います。当たり前に保護者の方々と楽しめる行事が行える日常が戻ってくることを願っています。

（支援員　三神　颯人）

美味しい芋掘り大会

季節は秋へと移り変わり、食欲の秋を迎えた矢先、学園に嬉しいお知らせが飛び込んできました。

近隣の畑でサツマイモを栽培している「東小高三門の環境を守る会」の方からサツマイモを学園に寄付したいとお話があり、早速芋掘り大会を企画しました。

当日は利用者六十名と職員で畑に駆け付けスコップで土を掘り起こしながら一人一人芋を手で探り当てながら、掛け声に合わせて芋を引き上げました。大きな芋を探し当てた方は満面の笑顔と喜びの声が畑じゅうに響き渡り、収穫の楽しさを満喫していました。

そして午後は学園の畑で焚火をしながら堀たて新鮮の芋で焼き芋大会を行い、甘くてホクホクの焼き芋を堪能し、美味しい一日を過ごすことができました。

（支援主任　田邉　清万）

地域支援委員会

今回、私たち地域支援委員会が取り組んだ三つの事例を紹介したいと思います。

一つ目は「いすみ鉄道×いすみ学園駅周りをお掃除して電車に乗せてもらおう！」です。近隣施設からお話があった企画ですが、十一月十六日、大原駅周りの除草作業を行い、そのお礼にいすみ鉄道の一両を貸し切り、今回十九名の利用者の皆さんを乗車させて頂きました。

久々の電車に皆さん自然と笑顔がこぼれていました。コロナ禍で外出が制限されている状況下ですが、いすみの秋の景色を車窓から眺めながら、しばしローカル線の旅を楽しむことができました。とても有意義な時間となりました。プレゼントさせて頂いた感謝のポスター、及び当日撮影した写真は大原駅構内に掲示されるなど、いすみ鉄道と繋がる良いきっかけとなったことは間違いありません。ご厚意に感謝致します。本当にありがとうございました。

二つ目は「グループホーム利用者による地域清掃」です。これまで見合わせを余儀なくされていましたが、約三年ぶりに実施に漕ぎ着けることができました。十月十六日はさくらの家のメンバーで国吉駅、十一月二十七日にはたんぽぽの家のメンバーで上総中川駅とそれぞれゴミ拾いや草取りを行いました。終わった後のどこか誇らしげな表情は大変印象的であり、達成感に満ち溢れていました。微力ではありますが、いくらかでも地域に貢献できたものと思います。

三つ目は「グループホームのおやつパーティー」（第二弾）です。六月に続いて十一月二十六日に二名の委員が二手に分かれて、手作りのプリンと白玉ぜんざいを提供させて頂きました。利用者の皆さんにもお手伝い頂いて、今回も和気あいあいとアットホームな時間を過ごすことができました。

今後も地域支援委員会は地域共生の考えのもと、地域社会との連携を大事にしながら、その活動を進めて行きたいと考えています。

（支援主任　屋代　精一）

㈲大丸木工所主催 作品展示販売会の報告

コロナの第八波が押し寄せる中、感染対策をしっかりと行いながら、様々な活動を行っていこうという動きがあります。その中で、ピア宮敷さんの御好意によりいすみ市岬町の大丸木工所様主催の作品展示販売会に参加させていただく事になりました。

いすみ学園は利用者さんが毎月一回行う絵画教室で描いた個性的な絵画の展示と、加工班、石鹸班、万木工舎、陶芸クラブの製品の販売を十二月三日～一月五日まで行いました。

地域社会との連携の機会をいただいた事、声を掛けて下さったピア宮敷さんと大丸木工所様に感謝いたします。今回を機にこれからも参加させていただけたら幸いです。

（支援員　金城　正直）

よろしくお願いします

平山紀夫

外作業班で働くことになりました平山紀夫です。

仕事を早く覚えられるように頑張ります。そして利用者の皆さんと仲良くしたいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

外作業班トピックス

ハウスが完成しました!!

図書コーナー

「僕のまんだら」（横山佳子著）を読んで

本書は一九八四年に執筆された知的障害（自閉症）を抱えるご家族のストーリーです。我が子の人生のサポーターとして、でき得る限り尽くされてきた道のりの変遷と、障害を持つ兄を弟の視点を通じても表現されており目を引き込まれました。このように兄弟目線での専門書は数少なく貴重です。

文中より地下鉄に乗車中の出来事をはじめ諸々のエピソードは、少なからずいすみ学園の保護者にも共通した母親の苦渋でしょう。世間の冷ややかな視線にどれだけ切ない思いをされてきたかは計り知れません。もしそのような状況下に私がいたとしたならばどうするべきか、勇気ある一言が言えたかを自問自答しているところです。本書を通じて障がい者支援に携わる側として人生をサポートできる喜びを感じます。障がい特性とは言わず、その人の個性として日々向き合うことの大切さを忘れずに支援していきたいと思います。

（支援員　長田　圭司）

感謝録

皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。（順不同　敬称略）

〈寄附者〉

・植草学園短期大学・江川佐和子・中垣徹・君塚悦子・脇和美・瀬田武久・㈲市原ぞうの国・吉田茂・白石規子・田野倉和枝・清水美穂子・石井くみ子・三上カットサロン・尾形静江・堀越路子・田村・日馬亜美・川﨑史葉・山田・黒崎仁志・西尾知江子・金子大輔・㈱あらた・木村泰美・立花英子・㈱セゾン情報システムズ・伸栄興産㈱・勝尾三奈・渡辺智美・斉藤みね子・川西一寿・加藤潤子・伴良子・矢野則武・加藤誠二・いすみ鉄道ボランティア・今野喜信・皆川会計事務所・皆川明良・渡邉洋子・石附万里子・㈲石野薬局・平なおこ・内山重浩・河住美穂・波多野電気管理事務所・㈱米本工務店・㈱小山商会・㈱ビーアイエー・原井清子

編集後記

令和五年がスタートしました。今年の冬は寒いと言われていますが、どんな寒さの中でもいすみ学園は温かな空気が流れている暮らしの場でありたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いします。

（さざなみ担当　末吉・土屋・是枝）

題字は **今年の年女 米丸由紀** さんです。

訃報のお知らせ

いすみ学園創設にあたり、東京地検特捜部を定年退職され、設立に向け多大なるご尽力をされた丸浦岩夫元事務長が令和四年十二月九日の朝方に九十五歳の天命を全うされご逝去されました。今日のいすみ学園の礎を築かれた功績には一同感謝し、丸浦元事務長から引き継いだ教訓を継承していきます。